

歯科放射線診療ガイドライン委員会第3回会議議事録

日時：2007年（平成19年）3月24日（金）12:00～15:00

場所：八重洲倶楽部第9会議室

出席者：佐野 司，庄司憲明，筑井 徹，村上秀明，林 孝文

報告事項：

1. インプラントの画像診断ガイドラインの進捗状況について
 - ・ 委員より各担当項目の進捗状況について報告がなされた。

審議事項：

1. インプラントの画像診断ガイドライン原稿（070323版）について
 - 1) 項目立てについて
 - ・ CT以外のエックス線検査（従来型断層やパノラマ断層軌道を含む）については欧米のガイドラインを参照いただき、本ガイドラインとしてはCTなどのボリュームデータを得られる撮影法を中心に記述することを再確認した。またCBCTについて、多様な機種を一括している点に問題が提起されたが、本ガイドラインとしては、歯科用に利用されているコーンビームCTをすべてCBCTとして扱うことを確認した。
 - ・ 各項目の推奨度について議論し、委員会としての推奨度（GLGL ver 4.3に準拠）と委員会からの意見を決定した。またエビデンス集について意見交換を行った。
 - 2) 全体の構成について
 - ・ エビデンスレベルが低い文献がほとんどであり、ガイドラインとしては低くともレベルを明示することに意義があること、また同時に委員会の意見を推奨度とともに明示することが重要であることを確認した。
 - ・ CTの撮影条件や画像処理法など、臨床現場で実際に役立つ資料も掲載したいところではあるが、エビデンスのある資料に乏しいことが確認された。
 - 3) エックス線被曝に関する記述について
 - ・ CT以外のエックス線検査については欧米のガイドラインを、CTの総論的な面については「脳血管障害画像診断のガイドライン」を参照いただくことを確認した。
 - ・ インプラントCT撮影時の被曝に関してエビデンスは乏しいが、MDCTとCBCTを比較したデータなどを資料として掲載することとした（佐野委員が担当）。
 - 4) 外部評価委員について
 - ・ ガイドラインの外部評価について意見交換を行い、直近の理事会に委員の選出を提案することとした。
2. 今後のスケジュールについて意見交換を行い、以下のように決定した。
 - 1) 3月31日（土）にインプラントの画像診断ガイドライン（委員会案）を完成し、webに掲載しMLを通じて通知し会員に公表することとする。
 - 2) 4月21日（土）のNPO法人日本歯科放射線学会第1回理事会（神戸）にて本委員会報告（議事録）を行い、外部評価委員選出を依頼することとする。また、公表したインプラントの画像診断ガイドラインに対する理事からの意見聴取を行う。
 - 3) 5月12日（土）のNPO法人日本歯科放射線学会総会・学術大会にて委員会報告としてインプラントの画像診断ガイドラインの口述発表を行い、一般会員からの意見聴取を行う。なお、会期中の5月10日（木）に、4月21日の理事会での議論を受け、必要に応じて第4回委員会を開催する。
 - 4) 2008年11月の第7回アジア口腔顎顔面放射線会議で開業歯科医対象にインプラントの画像診断ガイドラインの公聴会を開催する方針とする（奈良県歯科医師会との関係を重視する）。また、歯科医学会へのエントリーも行う方針とする。
3. インプラントの画像診断の次の診療ガイドライン策定について意見交換を行い、以下のように決定した。
 - 1) タイトルは「顎顔面領域の外傷の画像診断」を候補とする。
 - 2) 委員は必要に応じて交代・増員を行う。

以上

文責：林 孝文